

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)
【**単独**・連携事業】

市町名	益子町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	わが町HERO応援事業	総事業費	400,000	586,171	600,000	600,000	600,000	2,786,171
		うち市町支出額	400,000	586,171	600,000	600,000	600,000	2,786,171
		うち県交付金	0	285,442	300,000	300,000	0	885,442
2	おもてなし補助金(新たな結の創出ムーブメントin益子・濱田窯 茅葺きと古民家私たちの暮らしのこれからを考える)事業	総事業費	0	535,932	217,000	200,000	200,000	1,152,932
		うち市町支出額	0	267,966	108,500	100,000	0	476,466
		うち県交付金	0	133,983	54,250	50,000	0	238,233
3	おもてなし補助金(工藝の里、台湾大溪DAXI&益子MASHIKO FRIENDSHIP CRAFT WEEK)事業	総事業費	0	0	601,740	400,000	400,000	1,401,740
		うち市町支出額	0	0	287,270	200,000	0	487,270
		うち県交付金	0	0	120,885	100,000	0	220,885
4	農と食のまちづくり事業	総事業費	0	4,579,410	3,000,000	3,000,000	3,000,000	13,579,410
		うち市町支出額	0	4,579,410	3,000,000	3,000,000	3,000,000	13,579,410
		うち県交付金	0	2,282,210	717,790	0	0	3,000,000
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	400,000	5,701,513	4,418,740	4,200,000	4,200,000	18,920,253
		うち市町支出額	400,000	5,433,547	3,995,770	3,900,000	3,600,000	17,329,317
		うち県交付金	0	2,701,635	1,192,925	450,000	0	4,344,560

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	わが町HERO応援事業
事業主体の名称	益子町スポーツ協会
代表者の名称	会長 広田 茂十郎
事業主体の所在	益子町大字益子3667-3
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 益子町内における町民の体位向上を図り明朗で健康な精神を養い併せてスポーツ団体の育成を図ることを目的とする</p> <p>・設立年月日: 昭和47年4月25日</p> <p>・構成員等: 地元町民等及び事務局(益子町生涯学習課職員)29名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本町は、益子焼をはじめ観光の町として多くの地域資源を有する一方、高齢化や人口減少の問題を抱えており、若い世代の町外の転出が抑えられず、地域活力やコミュニティの維持が年々難しくなっている。</p> <p>そのような現状の中、本町出身の西谷優希選手が栃木SCに加入していることに伴い、サッカーを通じて地域スポーツの振興を図るため、例年「地域支援パートナーシップ協定」を締結している。</p> <p>地元出身のHERO(リーガー)が地元のプロサッカーチームである栃木SCに所属している今、子どもたち及び町民の郷土愛の醸成を図り、人口の流出を抑えて地域コミュニティを維持していくために、スポーツを起点とした振興施策を講じる必要がある。</p>
事業目的	<p>スポーツを起点としたイベントを行い、観光客誘致と関係人口の創出を図る。</p> <p>地元出身のHEROと共に事業を行うことにより、子どもたちに将来の夢を持たせ、スポーツへの関心を高めるとともに郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p><栃木SC益子町民デーの開催></p> <p>開催予定: 8月13日(日)午後6時キックオフ VS徳島ヴォルティス</p> <p>開催場所: 栃木県カンセキスタジアム(栃木県総合運動公園内)</p> <p>内 容: 8月13日(日)栃木SC VS 徳島ヴォルティス戦を益子町民デーとし、会場での来場者記念品配布等を通じた益子町のPR 及び町民及び町サッカークラブの子供たちの無料招待を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料チケット対象 益子町在住300名(小中高生100名、一般200名) ・来場者記念品配布 イベントエリアにて記念品配布を実施 ・ステージイベント マスコットキャラクター「マシコット」によるPR、益子天人疾風の会による太鼓演奏 ・エスコートキッズ 益子町サッカークラブによる選手入場時のエスコート等 <p>【令和5年度以降】</p> <p>「地域支援パートナーシップ協定」に基づき、現在の規模を維持しながら事業の継続をしていく。</p> <p>【1-d】参加・交流型</p> <p>特産品の販売やマシコットのステージイベントによる地域のPRを行うことで、来場者に益子町への興味関心を高め、益子町に訪れる観光客の誘致につなげる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】</p> <p>健康でたくましい心身を育てる体制づくり</p> <p>【KPI】</p> <p>体育施設利用者数(R1)124,180人→(R7)前年度増</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	栃木SC益子町民デーの開催	栃木SC益子町民デーの開催	栃木SC益子町民デーの開催		栃木SC益子町民デーの開催
事業費	586,171	600,000	600,000	1,786,171	600,000
市町支出金(ソフト事業分)	586,171	600,000	600,000	1,786,171	600,000
うち県交付金	285,442	300,000	300,000	885,442	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課 スポーツ振興係
担当者名	鈴木 智之
電話	0285-70-2727
連絡先 FAX	0285-72-3453
E-mail	svougai@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	わが町HERO応援事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	600,000	
計	600,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	223,000	223,000	111,500	0	・来場者記念品代 (栃木SCコラボタオル) ・天人疾風の会出演料 (太鼓演奏)
消耗品費	230,000	230,000	115,000	0	・のぼり旗 59,950円(20枚) ・スタッフ用Tシャツ 2,000円×24枚 ・ポスター 110,000円(600枚) ・養生テープ等消耗品 7,050円 ・記念品配布用袋代 5,000円(500枚)
手数料	2,000	2,000	1,000	0	・振込手数料
使用料	55,000	55,000	27,500	0	・テント 9,900円×2張 ・三方幕 2,200円×2枚 ・机 880円×10台 ・椅子 330円×16脚 ・錘 550円×22個 ・カラーコーン 220円×4個 ・コーン用バー 220円×2本 ・パネル 3,300円
賃借料	90,000	90,000	45,000	0	・大型バス1台 (当日関係者送迎用)
計	600,000	600,000	300,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(新たな結の創出ムーヴメントin益子・濱田窯 茅葺きと古民家私たちの暮らしのこれからを考える)事業
事業主体の名称	カモン長屋門プロジェクトチーム
代表者の名称	代表 濱田友緒
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町益子3387
事業主体の概要	・団体の目的:陶芸家濱田庄司が民藝運動の拠点とした、茅葺き屋根の古民家を再生するプロジェクトで学んだ手仕事や、地域の文化、風土を活かした暮らしの大切さを町内外に広く伝えることを目的とする。 ・設立年月日:令和4年4月1日 ・構成員等:地域住民、筑波大学生など10名
当該事業に係る地域の現状と課題	令和3年度に道祖土地区に現存する茅葺き屋根の古民家を再生する取り組みを実施したが、十分な活用がされていないため、単なる古い建物の修復にとどまらないよう、活用方法について検討し、対策を講じる必要がある。
事業目的	展覧会やマーケットイベントなどのイベントを開催し、古民家再生の取り組みを通じて学んだことを町内外に広く伝える。また、茅葺き屋根を通じたネットワークを作り、引き続き地域文化を発信する。
事業概要	【令和5年度】 古民家の修復過程や地元職人の手仕事などを紹介する展覧会のほか、古民家を活用したマーケットイベントなどを開催する。 <展覧会> 日時:5月20日(土)~6月4日(日) 場所:濱田窯長屋門 内容:茅葺き長屋門の修復工事の記録を写真、映像、職人たちの道具の展示を通して、携わった人々の想いを未来に伝える展覧会。 <マーケットイベント> 日時:11月17日(金)~19日(日) 場所:濱田窯長屋門周辺 内容:「古いもの、健やかな田舎、焼き物」をテーマにマーケットを開催する。同時に茅葺き屋根保存活動紹介を行い、地域文化の理解を促す。 <ネットワークづくり> 茅刈り及び茅の収穫をするボランティアを募りネットワークをつくる。 【令和6年度】 ネットワークを活かし、古民家建築そのものや周辺環境を活かした勉強会、マーケット、ワークショップなど様々なイベントを行う。 関係人口 【I-a】直接寄与型、【I-d】参加・交流型
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 291万人(令和元年度)→340万人(令和7年度)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	イベントの実施(レクチャー、トークセッション、ワークショップ)	イベントの実施(展覧会、マーケット)	イベントの実施(レクチャー、トークセッション、ワークショップ)		イベントの実施(レクチャー、トークセッション、ワークショップ)
事業費	535,932	217,000	200,000	952,932	200,000
市町支出金(ソフト事業分)	267,966	108,500	100,000	476,466	0
うち県交付金	133,983	54,250	50,000	238,233	
市町支出金(ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	267,966	108,500	100,000	476,466	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光工商課 タウンプロモーション係	
担当者名	高田 展史	
連絡先	電話	0285-72-8846
	FAX	0285-70-1180
	E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(新たな結の創出ムーヴメントin益子・濱田窯 茅葺きと古民家私たちの暮らしのこれからを考える)事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金(おもてなし補助金)	108,500	
事業収入	108,500	入場料、出店料収入
自己負担額	0	
計	217,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	30,000	15,000	7,500	15,000	講師謝礼
委託料	110,000	55,000	27,500	55,000	展覧会設営一式
消耗品費	19,720	9,860	4,930	9,860	各種消耗品
食糧費	7,780	3,890	1,945	3,890	講師弁当代、お茶代
印刷製本費	38,500	19,250	9,625	19,250	チラシ印刷代
保険料	11,000	5,500	2,750	5,500	イベント保険
				0	
				0	
計	217,000	108,500	54,250	108,500	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(工藝の里、台湾大溪DAXI&益子MASHIKO FRIENDSHIP CRAFT WEEK)事業
事業主体の名称	地域コミュニティ・ヒジノワ 勝手姉妹郷実行委員会
代表者の名称	実行委員長 廣瀬 理香
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町益子1665
事業主体の概要	<p>「団体の目的:地域コミュニティ・ヒジノワは有志で運営する地域コミュニティで、シェアオフィスや、レンタルスペース、日替わりカフェのほか地域の課題解決や地域資源を学ぶ機会を創出する拠点となることを目指し、地域間交流事業を行っている。その活動の中で、2022年1月から交流を続けている台湾・桃園市大溪区と工藝の町どうしで交流を育んでいくべく、2022年11月に台湾・桃園市大溪区のC house/大溪木藝生態博物館と民間での友好協定「勝手姉妹都市」を締結した。その交流を軸に、首都圏や近隣の市町村から関心のある人が参加しやすくなるプログラムを設け、地域外に益子町の新しい魅力や価値の側面を伝えることで、新たな益子ファンを醸成を目指す。また、その土地に根ざした作り手同士の交流を深め、相互に学び、協力し合うことで新たな事業の展開や台湾からの誘客を目指す。</p> <p>・設立年月日:令和4年1月 ・構成員等:地域住民、大学生など12名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	台湾・桃園市大溪区と民間での友好協定「勝手姉妹郷」を締結したが、交流の場が限られているため、今後は勝手姉妹郷の交流を軸にこの事業に関心のある人や、それぞれの地域のさまざまな作り手に交流の場を広げ、地域外への魅力発信や新たな事業展開、誘客に繋げていく必要がある。
事業目的	「益子町のファン・工芸ファン・台湾に関心がある人・古建築や工芸を生かしたまちづくり」などに関心がある人が参加しやすくなるプログラム(特設ストア開設や講演会、ツアーの実施)を設け、地域外に益子町の新しい魅力や価値の側面を伝えることができる機会をつくる。また、桃園市大溪区の地域振興の考え方や事例を益子町民や近隣の人が学ぶ機会をつくり、さらには益子町と桃園市大溪区がコラボレーション事業に取組むための第一歩を踏み出す機会をつくっていく。
事業概要	<p>【令和5年度】 ・展示販売の特設ストア「DAXI STORE@益子」の開設 期間:5月12日(金)～22日(月) 12:00-19:00 会場:益子新町MINORU'S W&P HOUSE 展示内容:台湾大溪に関する刊行物や観光資料、益子町の観光資料などを閲覧できるように展示、PRを行う。 販売内容:①台湾産の衣類ブランド「茶衫」(男・女)②台湾陶器と市のコラボ商品 ③木箸や匙と専用の布ケース ④台湾刺繍小物 ⑤台湾のお茶、香辛料等 陳美霞さん(C house代表)や桃園市立木藝生態博物館職員を含む大溪チーム7名が19日～22日の店頭立ち、台湾大溪のPRや商品説明を行う。 ・講演会「大溪に学ぶ、風土に根ざした古建築と木藝のまちづくり」 会場:starmet ZONE 益子町益子3278-1 日時:5月21日(日)10:30-12:00 講師:陳美霞さん(C house代表) + 桃園市立木藝生態博物館職員 定員:30名 内容:C houseの設立の目的や取組み内容、これまでの成果など、代表・陳さんのプロダクト開発などの考え方や大切にしていることなど ②博物館やC houseが拠点となった、大溪区のまちづくりの「考え方」や「具体的な取組み」「市民との協働の仕組み」について ※イベント終了後、大溪メンバーは13時より特設ストアにてPR、町内工芸作家のアトリエ視察を行う。 ・ツアー「民藝と風景を読み解くフレンドシップ・ツアー@益子参考館」 会場:濱田庄司記念益子参考館 日時:5月20日(土)9:30～11:00 定員:大溪チーム7名 + 一般参加・限定5名 内容:館長の濱田さんによる収蔵品のガイド、廣瀬さんによる庭や敷地のランドスケープのガイドを「台湾」に因んだ内容を盛り込んだ内容で行う。 (インバウンド向けの工芸ツアーの可能性を探る企画として位置付ける) ※イベント終了後、大溪メンバーは13時より特設ストアにてPR、町内工芸作家のアトリエ視察を行う。 ・情報交換 イベント終了～12月 イベント終了後も次年度の事業実施に向け、各地域間で連絡及び情報交換を適宜実施する。</p> <p>【令和6年度】 大溪の作家と、益子の作家のコラボレーションによる新しいプロダクトの開発や、台湾・桃園市からの誘客事業(交流ツアープログラムの開発)を行う。</p> <p>関係人口 【1-a】直接寄与型、【1-a】参加・交流型</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 291万人(令和元年度)→340万人(令和7年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		特設ストア開設、講演会、ツアーの実施	新プロダクト開発、交流ツアープログラム開発		新プロダクト開発、交流ツアープログラム開発
事業費	0	601,740	400,000	1,001,740	400,000
市町支出金(ソフト事業分)	0	287,270	200,000	487,270	0
うち県交付金	0	120,885	100,000	220,885	
市町支出金(ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	0	314,470	200,000	514,470	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	高田 展史
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(工藝の里、台湾大溪DAXI&益子MASHIKO FRIENDSHIP CRAFT WEEK)事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金(おもてなし補助金)	287,270	
自己負担額	314,470	
計	601,740	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
旅費	173,800	86,900	43,450	86,900	講師旅費
賃借料	64,240	32,120	16,060	32,120	講師送迎用レンタカー代
報償費	52,000	26,000	13,000	26,000	講師、ガイド、通訳謝礼
食糧費	122,500	61,250	7,875	61,250	講師食事代(大溪チーム7名分) 【5/19】 夕食3,000円×7名分 【5/20~22】 朝食1,000円×7名分 昼食1,500円×7名分 夕食2,000円×7名分 【5/23】 朝食1,000円×7名分 昼食代3日分のみ県交付金使用
印刷製本費	62,000	31,000	15,500	31,000	チラシ印刷代
備品購入費	70,000	35,000	17,500	35,000	看板、展示備品
通信運搬費	30,000	15,000	7,500	15,000	展示販売品の輸送代
記念品代、入館料	27,200	0	0	27,200	ツアー実施の際の入館料 記念品代
				0	
計	601,740	287,270	120,885	314,470	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	農と食のまちづくり事業
事業主体の名称	ましこ農と食の研究会
代表者の名称	会長 渡辺 重雄
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子2030番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地域農業・食を支えていくための人づくり、また育成した人々を活かす仕組みづくりを進め成長産業としての農業の育成と食のまちづくりを実現する</p> <p>・設立年月日:令和3年5月10日</p> <p>・構成員等:益子町農業委員会、JAはが野、益子町商工会</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	益子町の農業では担い手不足や高齢化など長年の課題を抱えている。また飲食業においては、コロナ禍による観光客の減少により所得の減少など大きな打撃を受けている。益子町の強みとなりうるこれら2つの産業が成長産業として発展するためには新たな人材の確保、育成や販路拡大、開拓に向けて、関係者が連携をとり戦略的に展開していくことが必要となる。
事業目的	農業、飲食業、移住定住希望者など多様な人材の交流の場を創出、就農者への支援をすることにより人材の確保育成を図るとともに、農産物を活用したレシピを作るなど地域資源の磨き上げを行う。それらの人材や地域資源を活用しビジネスへと展開させ、所得を向上させることで持続可能な農と食のまちづくりの実現につなげる。
事業概要	<p>【令和5年度】 農業体験教室「ましこ農の学校」を継続して実施し、新たな新規就農者の確保を図るとともに初年度に参加した受講生の就業支援を行う。 「ましこ食の学校」も継続し、引き続き町内農産物のPRを実施しながら、加工品開発セミナーや郷土料理の伝承を目的としたレシピ化をする。</p> <p>【令和6年度】 農業体験教室「ましこ農の学校」を継続して実施し、農ある暮らしのデジタル化によるPRを実施する。 「ましこ食の学校」も継続して実施し、町内農産物や加工品開発セミナーで開発した商品の販路拡大を図り、今後も継続していくための仕組みづくりをする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】 新規就農者の確保、育成を図る。 【KPI】新規就農者数 28人(令和元年度)→53人(令和7年度)</p> <p>【目標】 「ましこ食の学校」で新たに開発された商品の数(累計) 【KPI】新規就農者数 未実施→15(令和7年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	4年度	5年度	6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・農業体験教室の実施 ・農産物PR、及び加工品開発セミナーの実施	・農業体験教室の実施及び就業支援 ・農産物PR、及び加工品開発セミナーの実施、郷土料理のレシピ化	・農業体験教室の実施及び農ある暮らしのPR ・農産物PR、及び加工品開発セミナーと開発した加工品の販路拡大		・農業体験教室の実施及び就業支援 ・農産物PR、及び加工品開発セミナーの実施、郷土料理のレシピ化
事業費	4,579,410	3,000,000	3,000,000	10,579,410	3,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	4,579,410	3,000,000	3,000,000	10,579,410	3,000,000
うち県交付金	2,282,210	717,790	0	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農政課農業振興係
担当者名	小宅隆司
電話	0285-72-8853
FAX	0285-70-1181
E-mail	nousei@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	農と食のまちづくり事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金 (農と食のプロジェクト交付金)	3,000,000	
計	3,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	1,464,000	1,464,000	307,790	0	メイン講師30,000円×20日 メイン講師以外 30,000円×8名 20,000円×10名 4,000円×4名 サポート者 6,000円×20日 圃場管理 4,500円×64日
委託費	837,000	837,000	300,000	0	農の学校(運営委託) 食の学校(加工品開発委託)
需用費	441,000	441,000	100,000	0	農の学校の生産資材代 消耗品代
賃借料	120,000	120,000		0	農の学校(トラクターの借上げ)
役務費	30,000	30,000	10,000		保険代
備品費	60,000	60,000		0	プリンター購入
視察研修費	48,000	48,000			深谷市野菜な仲間たちファーム視察研修
				0	
				0	
計	3,000,000	3,000,000	717,790	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合